



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



なかま

校長 中島 豊

年明けに、念願だった杉並の災害時提携都市である福島・南相馬を訪れました。現地でレンタカーを借りて、快晴の郡山から二本松市、飯館村を抜けて東に向かって走りました。海岸に近付くにつれて次第に形を歪め、途切れ、なくなっていくガードレール…、東北電力原町火力発電所付近では道路の半分近くが陥落し、片側を徐行しなくては通れない箇所がいくつもありました。依然として横たわる潰れた救急車など、改めて震災の爪痕の凄さを感じました。

そして、種類ごとに積み上げられた家財や瓦礫の山、辿り着いた海辺には、見渡す限りに続く黒い大地が横たわっていました。津波被害の大きさ、恐ろしさを家族で改めて目の当たりにし、子供の頃、福島県に疎開した経験のある私の母は、下を向いてただ泣き伏しておりました。

この話は、以前、PTAの運営委員会でも触れましたが、昨年いつ頃だったか、天声人語に、「東北で活動した学生への調査（n=445）で、再びボランティアに行こうと思う人は95%に達し、87%が満足を得られたと振り返っている」とありました。その理由には、現地の人々や仲間との出会いが大きく関わっているのだそうです。

ところで、2月7日に行った天沼中との協働による研究発表会には、多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。参加票に記入していただいた方だけでも370名を超え、たくさんの方々と地域で育む子供たちの規範意識についての熟議を交わすことができました。

いただいたアンケートでは、「学びの場を校とした地域の絆づくりに興味・関心をもった」と解答した割合が92%、「同じような取組を地域や学校で開催する必要があると感じるか？」という問いには82%の方が肯定的なアンサーを返しています。

昨年11月に「学びを力とする3.11以降の地域づくり、社会づくり」をテーマとして、文科省と東北三県とを結んで行われた全国生涯学習ネットワークフォーラムには本校児童も多数参加しましたが、終了後、同じような調査を実施しています。それによると、参加者の75%が「地域や社会的な

課題を解決するための活動に参加したい」という感想を寄せています。同様の質問項目に、今回のアンケートでは88%という回答をいただいております。この数字は、発表会に集まって来られた方々の意識の高さを物語っていると言えます。

一方、こういった取組に参加するための条件としては、「分かりやすい広報」を押えて、4割以上の方が「一緒に参加する仲間」の存在を第一に挙げています。

先程のボランティアに参加した学生と同様、絆づくりを動かす原動力は、まさに「人にあり」と言えます。

C Sとなって初めて学校運営協議会が実施した「学校評価」にたくさんのコメントをお寄せいただき、ありがとうございました。いただいた内容は2月の会議で検討し、改善の必要ありと判断したものについては、翌日から実施しております。これも、学校運営協議会が仕掛け、保護者が呼応するという、天沼小の児童を取り巻く大人の積極的な関わりがあるからこそその結果であると捉えております。

こうした対話や協議を続けて天沼小の伝統を築き、今の子供たちが大人となって、皆さんと同じようにまた、子育てを語り合う…本校が、そんな「循環型地域社会の形成の拠点」となれるよう、努めてまいります。

今、校長室では、あと僅かで巣立ち行く6年生との会食を行っています。好きだった給食のメニュー、旧杉五小・旧若杉小の思い出、中学でやりたい部活動、新校舎への期待等々話題はつきません。どの子と話しても共通に言えることは、屈託なくよく考える子供に成長しているということです。そして、最後の小学校生活を過ごす仲間との日々を惜しみながらも、一人一人の個性が輝き、新しい世界に一步踏み出してさらに伸びていこうとする若芽のオーラを強く感じます。

今週末は五節句の一つである上巳の節句。

南風をはらんで、ほどなく春が訪れます。すべての窓辺に生命の光がはらず季節が待ち遠しいですね。

……今月の目標……

生活

学年のまとめをしっかりしましょう
(1年間の反省をしましょう)

保健

耳を大切にしましょう
(3月3日は『耳の日』です)

給食

楽しい給食ができたか
考えましょう



3月の行事予定

日	曜	行事予定
1	木	児童集会 保護者会 (46年)
2	金	読書 読書週間終
3	土	音楽教室 (グリーンフィル)
4	日	
5	月	全校朝会 6年生を送る会 委員会
6	火	かけあし・読書 保護者会 (1235年こだま)
7	水	読書
8	木	読書 卒業を祝う会
9	金	読書・かけあし
10	土	まちの音楽会
11	日	
12	月	全校朝会 委員会
13	火	かけあし・読書
14	水	読書 フォローアップタイム 天沼FP
15	木	児童集会
16	金	読書・かけあし
17	土	
18	日	
19	月	全校朝会
20	火	春分の日
21	水	フォローアップタイム 給食終了 前日準備
22	木	修了式
23	金	卒業式
24	土	

保護者会のお知らせ

1日(木) 46年 15:00~
6日(火) 1235年 15:00~
こだま 14:00~

「1年間の学習・生活について」
「春休みについて」他

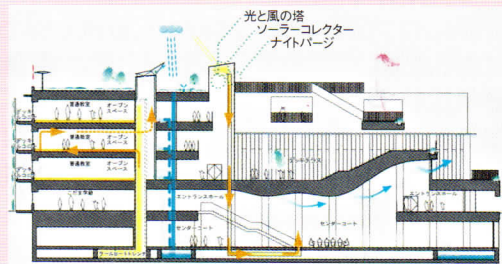
春季休業日 3月26日(月)~4月6日(金)

始業式 4月 7日(土) 8時10分~9時

【持ち物】上履き・上履き袋・連絡帳・筆記用具・防災頭巾など
※2年生と6年生は入学式出席のため下校時刻は前後します。
くわしくは、最終の学年便りに記載されますのでご覧ください。

THE 天沼小の魅力vol.11

2階図書室に隣接する「風のテラス」からはガラス張りの吹き抜けが見えます。「光と風の塔」です。上昇気流を利用して自然換気を行うとともに、トップライトからの自然採光を塔内で乱反射させ、地下まで取り込んでいます。冬場は、屋上のソーラーコレクター内で暖められた空気を地下の床下から供給しています。夏場は、ナイトパージから夜間の冷たい外気を取り込むことにより、躯体蓄熱を低減させています。エコスクール(環境共生型学校)の目玉になっているのが「光と風の塔」の仕組みです。風の流れは目には見えませんが、24時間、校内の空気が循環し夏は涼しく、冬は暖かく過ごせるのです。



学校運営協議会だより

地域立天沼小学校

学校運営協議会委員長職務代理 井上 尚子

学校教育を学校だけが行う時代は終わりました。情報化社会、少子化により、子供同士での遊びの時間は減り、その多くは、バーチャルな世界の遊びに引き込まれています。人と人の関わり合いをもつ機会も減り、子供たちの会話の相手は、家族と先生と仲のよい友達。近所のおじさんやおばさんなど、他の大人たちとの会話の機会をもつことなどほとんどなくなってきています。つまり、学校教育も時代の変化に対応する必要がでてきているのです。

もちろん先生は教えるのプロです。基礎・基本の学習や、生活指導などは先生の専門的な仕事です。しかし、それ以外にも、学校運営や行事運営の分担仕事を行う、保護者対応をするなど、先生の職務は年々多忙化の一途をたどっています。

私達は、先生には、日々の学習指導をしっかりとしてもらいたいと思っています。教材準備、分かりやすい授業の工夫など、本来先生が行うべきことに、より多くの時間を注いでもらいたいです。一方、地域の人間が学校教育の中で協力できることもたくさんあります。それを分担して担っていくのが、PTAであり、学校支援本部です。さらに、保護者や地域の課題を学校とともに解決していくのが学校運営協議会の役割と考えます。

今、学校運営協議会では、天沼小学校の取組を発信し、児童・保護者・地域の皆さんから意見を聞いて反映させるべく「学校評価」に取り組んでいます。さらに、新校舎移転1年目で見えてきた「自転車駐輪」に対する課題解決のために、検討委員会設置を学校に提案し、協議を進めています。意見を言い合うだけの会ではなく、参加した委員が、課題解決のために動くということが、この検討会の重要性だと思います。

学校運営協議会は、保護者・地域の支えによって成り立つ学校、「地域立天沼小学校」を目指して今後も歩みを進めてまいります。